

博士論文（要約）

国際化する大学に求められる
留学生支援とは何か？

—多様性に対応するサービスの構築—

大西 晶子

はじめに	1
第 I 部 研究の背景と問題の設定	2
第 1 章 留学生を支える仕組みはどのように作られてきたか	3
－日本の留学生受け入れと大学の留学生支援の展開－	
第 1 節 日本における留学生の受け入れの現状	3
第 2 節 留学生受け入れ政策と留学生支援体制の発展	14
第 3 節 留学生支援の基本的枠組みと実践の全体像	24
第 4 節 留学生を受け入れる日本社会の現状	35
第 5 節 本研究の課題	41
第 2 章 本研究の構成	50
第 1 節 問題提起	50
第 2 節 本研究の特徴	51
第 3 節 リサーチクエスチョンと研究の全体像	57
第 II 部 心理援助サービスは多文化社会に対応できているか	64
第 3 章 多文化に対応した心理援助とは何か	65
第 1 節 心理援助サービスにおける文化の問題の取り扱い	65
第 2 節 多文化に対応した心理援助サービスに関する研究枠組み	69
第 3 節 まとめ	85
第 4 章 多文化に対応した心理援助サービスの日本での取り組み	87
－援助専門家の視点からみた日本の現状と課題－	
第 1 節 問題と目的	87
第 2 節 方法	92
第 3 節 結果	101
第 4 節 考察	116
第 III 部 大学は留学生支援をどのように実施しているのか	125
第 5 章 留学生への学生支援サービスの提供に関する先行研究	126
第 1 節 留学生の異文化における適応に関する研究の動向	126
第 2 節 留学生の学生支援サービスの利用に関する研究	133
第 3 節 今後の課題と研究の焦点	149
第 6 章 学生相談機関における留学生対応	151
－全国の大学の学生相談機関を対象とした調査の結果－	
第 1 節 問題と目的	151
第 2 節 方法	152
第 3 節 結果	154
第 4 節 考察	157
第 7 章 学生相談従事者から見た留学生支援	165
第 1 節 問題と目的	165
第 2 節 研究方法	166
第 3 節 結果	167
第 4 節 考察	172
第 III 部のまとめと今後の課題	177

第 IV 部 留学生は援助資源をどのように使っているのか	178
第 8 章 留学生の異文化における相談相手	179
第 1 節 問題と目的	179
第 2 節 方法	180
第 3 節 結果	184
第 4 節 考察	201
第 9 章 来室型サービスによる留学生支援の可能性	210
－ 留学生向け相談室における実践事例に基づいて－	
第 1 節 問題と目的	210
第 2 節 フィールドの概要	211
第 3 節 方法	226
第 4 節 結果と考察	231
第 5 節 総合考察	246
第 IV 部のまとめと今後の課題	258
第 V 部 留学生はどのような学生支援サービスを求めているか	260
第 10 章 留学生の学生支援サービスの利用を阻む要因	261
第 1 節 目的	261
第 2 節 方法	262
第 3 節 結果	275
第 4 節 考察	275
第 5 節 実践への示唆と今後の課題	279
第 11 章 留学生の学生支援サービス利用プロセスについてのモデルの生成	282
第 1 節 問題と目的	282
第 2 節 方法	283
第 3 節 結果	293
第 4 節 考察	345
第 5 節 まとめと今後の課題	357
第 12 章 モデルの適用による留学生への面接事例の検討	359
第 1 節 問題と目的	359
第 2 節 方法	359
第 3 節 事例の概要	360
第 4 節 仮説モデルを適用した事例の検討	366
第 VI 部 総合考察	379
第 13 章 多様性に対応する留学生支援サービスの提案	380
第 1 節 本研究により得られた知見	380
第 2 節 知見の整理と留学生支援サービスへの提案	383
第 3 節 本研究の意義	402
第 4 節 本研究の限界と今後の課題	409
第 5 節 結びにかえて	414
引用文献	415
Appendix	447
謝辞	

本論文は、5年以内に出版予定であること、また一部を既に下記学会誌に掲載済みであり、インターネットでの公開の許可が得られていないものを含むため、全体の要約の公開によって全文の公開にかえさせていただきます。

(1) 2008年 11月 学会誌 学生相談研究 29号2巻 113～127頁

「留学生の利用しやすさに配慮した留学生相談活動—個別相談と日本人との交流プログラムの利用実態に注目して—」

9章の一部に該当します

(2) 2010年 10月 学内誌 東京大学留学生センター 16号 43～55頁

「多文化化する日本社会における心理援助の現状と今後の課題について」

4章の一部に該当します

(3) 2012年 7月 学会誌 学生相談研究 33巻1号 25～37頁

「留学生への相談・支援体制の現状と課題：学生相談機関における対応実態を中心

6章・7章に該当します

(4) 2013年 3月 学会誌 学生相談研究 31号3巻 225～235頁

「イスラム教を信仰する男子留学生との面接過程：クライアントの視点を踏まえた宗教的に適切な心理援助についての一考察」

12章の一部に該当します

(5) 2013年 12月 学会誌 心理臨床学研究 31巻5号 788～798頁

「在日大学院留学生の学生相談資源利用の障壁についての検討」

11章の一部に該当します

第I部

研究の背景と問題の設定

第1章

留学生を支える仕組みはどのように作られてきたか

- 日本の留学生受け入れと大学の留学生支援の展開 -

留学生受け入れを通じた大学の国際化が注目される中、留学生の増加・多様化が進んでおり、大学における留学生支援のありかたが改めて問われている。そこで本研究においては、国際化する大学に求められる留学生支援サービスの形を明らかにすることに取り組んだ。

第1章では、日本の大学において、留学生支援体制がどのように整備されてきたか、留学生数の増加や留学生受け入れ理念・政策の変容、社会状況等のマクロレベルの影響要因との関連性を整理した。また、グローバル化時代に求められる多様性に対応可能なサービスの実現に向けて、大学固有、学生相談に特有の課題を明らかにしていくとともに、日本の外国人受け入れ全体の中で議論を進めていく必要を指摘した。

第 2 章

本研究の構成

第 2 章においては、研究全体の基本的なリサーチクエスチョンと、研究の方法論的特徴について示した。また、研究全体の構造について明らかにした。

第II部

心理援助サービスは多文化社会に 対応できているか

第II部においては、留学生支援の議論の前提となる、文化的に適切な心理援助とは何かについて、諸外国の先行研究の知見を明らかにし、さらに日本における実践の現状について把握した。

第 3 章

多文化に対応した心理援助とは何か

第 3 章では、諸外国における、文化の側面に適切な配慮を行った、多文化に対応した心理援助に関する先行研究から得られた知見について、援助要請行動と多文化カウンセリングの概念を中心として整理を行った。文化的言語的に適切な対応を可能とするとみなされる、異なる前提に基づいた複数の方法について示し、想定される利用者と社会のニーズとを明らかにし、それらに合致した方略を用いる必要性を指摘した。

4 章

多文化に対応した心理援助サービスの

日本での取り組み

-援助専門家の視点に基づく日本の現状と課題-

第4章では、在住外国人人口の増加がみられる日本社会において、在住外国人を対象とした心理援助実践の現状を示し、文化的配慮がなされた心理援助サービスを提供する上での課題を、17名の援助専門家へのインタビュー調査の結果から明らかにした。

第 III 部

大学は留学生支援をどのように 実施しているのか

第 III 部以降は、留学生を対象とした学生支援に焦点を絞り議論を行った。まず第 III 部では、留学生支援サービスに関連する次元のうち、サービスを提供する主体となる大学に視点を置き、国内の大学における留学生支援の体制と担い手となる学生支援の専門家の意識という二つの側面から、国内の留学生支援の実態を明らかにした。

第 5 章

留学生への学生支援サービスの提供に関する

先行研究

第 5 章では、留学生を対象とした国内外の先行研究のうち、主に留学生の学生支援サービスの利用に関する研究に焦点を当てて知見を整理した。留学生はサービスギャップが指摘される学生集団であることや、個人的な問題に関する相談がされにくい傾向、留学生集団内の差にも留意が必要であることなどを示した。また国内では、留学生の心理的適応状態や適応関連変数を検討する研究は比較的多くなされており、予防的な関わりや、ソーシャルサポートネットワークの拡充を図ることなどが提案されているが、学内の学生支援サービスの利用状況については実態が十分に把握されていないこと、加えて東アジア出身者を対象とした研究が多く、留学生集団全体については十分に研究が行われていない問題についても指摘した。

第 6 章

学生相談機関における留学生対応

—全国の大学の学生相談機関を対象とした調査の結果—

第 6 章では、日本国内の大学に場を絞って、留学生対応の現状を明らかにした。留学生数が概ね 250 名を超えると考えられる大学の学生相談機関を対象に質問紙調査を実施し、53 大学から回答を得た。調査の結果、全学の学生を対象とした学生支援の枠組みの中で留学生対応を行う統合型のサービス形態を持つ大学と、留学生対象のサービスが学内に別途設けられた分業・分離型のサービス形態を持つ大学が見出された。また、留学生対応の実態は大学ごとにばらつきが大きく、対応方針も明確ではない場合が多いことが明らかとなった。これらの現状を踏まえ、各サービス形態ごとに、課題についての検討を行った。

第 7 章

学生相談従事者から見た留学生支援

第 7 章においては、学生相談従事者を対象とした質問紙調査の結果から、留学生対応に関する意識や認識を明らかにした。その結果、対応にあたって不安や戸惑いを感じる人が相談従事者の半数以上存在し、また留学生対応を特別な資質・能力を要する領域と考える人が 7 割程度みられた。不安や戸惑いの原因は言語力に関連したものが多く、留学生への対応の充実化には言語対応可能な部署との連携や、通訳の手配が必要であると捉える人が多かった。

第IV部

留学生は援助資源を どのように使っているのか

第IV部においては、実際に留学生が大学が提供する学生支援サービスをどのように利用しているのかを明らかにした。

第 8 章

留学生の異文化における相談相手

第 8 章では、留学生が来日後どのような問題に対して困難を抱えたり悩んだりするのか、またそれを誰に相談しているのかを、質問紙調査を実施して明らかにした。また諸要因による問題状況や利用資源の差異を検討し、留学生の示す一般的特徴と集団内の多様性を示した。

留学生が来日後に体験することが多いのは、進路や研究に関する困難・悩みであり、また自分で解決が困難であるような問題を抱えた場合には、親しい友人や母国の家族への相談が行われていた。大学が提供するサービスや教員に悩みや困難を相談したことがある学生は限られていた。出身地域は、困難の体験や相談相手の選択に最も影響する要因であり、東アジア出身者は困難体験の認知度の高い集団であった。

第 9 章

来室型サービスによる留学生支援の可能性

—留学生向け相談室における実践事例に基づいて—

第 9 章においては、留学生の受け入れを積極的に行っている A 大学において、留学生を対象に設けられた相談室を事例として取り上げ利用実態を示し、来室型サービスの課題と可能性について検討した。留学生は、個人的な悩み事としての相談よりも、就職活動や生活の問題など、具体的な助言や介入が期待できるような問題内容を主訴として相談室を利用することが多いこと、ただし出身地域により利用の仕方に特徴がみられることが明らかとなった。また 2005 年-2007 年度、2008 年-2012 年度の二つの時期の利用者データの分析を通じて、利用実態の変化について検討を行った。さらに留学生の学生支援サービスの利用形態の多様性に合致したサービスとして、個別相談以外の支援機能もあわせ持ち、心理援助以外の側面からも学生の生活を支えることができる多機能の相談室の有効性について論じた。

第 V 部

留学生はどのような学生支援サービスを 求めているか

第 V 部においては、留学生を対象とした質問紙調査と面接調査によって、留学生の学生支援サービスの利用に対する認識を検討し、留学生の視点から、どのようなサービスが利用しやすいのかを明らかにした。

第 10 章

留学生の学生支援サービス利用を阻む要因

第 10 章においては、留学生の学生支援サービス利用に際しての障壁要因を明らかにし、さらにどのような変数が、その認知に影響を及ぼしているのかを検討した。探索的因子分析の結果、サービスの利用障壁因子として、「サービス内容理解不足」「スティグマへの心配」「文化的呼応性懸念」「援助関係形成不安」の 4 つが得られた。また、それぞれの因子をどの程度利用障壁と見なすかは、出身地域、日本語力、援助資源の認知状況等により影響を受けていた。

「サービス内容理解不足」以外は出身地域による差異が有意であり、そのうち「文化的呼応性懸念」は、援助資源の存在を知らない場合より、知っている場合のほうが、出身地域間の差異が明確であった。また日本語力の程度による影響は、資源の認知の有無により異なっていた。

結果を踏まえ、サービスに関する情報提供や言語対応だけでは、学生の援助資源利用に対する障壁の軽減につながらない可能性があること、出身地域ごとの文化的特性を踏まえた対応が必要であることを指摘した。

第 11 章

留学生の学生支援サービス利用プロセス

についてのモデルの生成

18名の留学生を対象にインタビュー調査を行い、各人の学生支援サービスへのアクセス・非アクセスの流れがどのように生じているのかを明らかにした。相談資源として相応しいと見なされる基本的要件は多様であり、また要件を満たしているかどうかを見極める基準は多面的であった。中でも、大学で相談相手と成り得る資源の見極めにおいては、サポートを提供する人の専門性や態度が問われる場合と、相手との共通性や親しさなどの関係性が問われる場合とがみられた。また、見極めのプロセスには来日後形成された日本人や日本社会との関係性や、母国社会において馴染みのある援助授受の規範などが影響を及ぼしていた。さらに、学生支援サービスにアクセス後も、相談の場の適切さに対する評価が継続的に加えられ、相談の中断や問題を打ち明ける行為に影響を及ぼしていた。留学生が相談資源にアクセスし、相談相手を信頼できると見なし、心を開いて悩みを開示するプロセスを説明する仮説モデルとして、「留学生の学生支援サービスの利用の二段階モデル」を提示した。

第 12 章

モデルの適用による留学生への面接事例の検討

来室後に中断が生じた面接事例を取り上げ、第 11 章で生成した仮説モデルを適用することによって事例の検討を試みた。

第VI部 総合考察

第13章

多様性に対応する留学生支援サービスの提案

第VI部第13章では、第I部から第V部までの結果を踏まえて、大学の国際化に伴い多様化する学生のニーズに対応するため、実現すべき学生支援サービスの形について提案を行い、さらにサービス構築において、大学コミュニティの構成員が果たすべき役割を示した。さらに研究の意義について、実践的側面と理論的発展の側面から考察を加えたのち、研究の限界と今後の課題について述べた。

引用文献

- 阿部裕 (2009). 「こころ」の壁 精神科医の立場から 東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター(編)外国人相談事業,実践のノウハウとその担い手,シリーズ多言語・多文化協働実践研究,別冊 2,73-82.
- 阿部裕・比賀晴美 (2004). クリニックにおける外国人のこころの支援 こころと文化, **3**(1),27-35.
- 足立由美・安住伸子 (2007). 学生相談室を利用するきっかけについて-利用者データベースと学生生活実態調査結果からの分析- 学生相談研究, **28**,113-121.
- 秋山剛 (1998). 異文化間メンタルヘルスの援助を阻害する要因 こころの科学, **77**,59-64.
- 秋山剛 (1999). 在日外国人の精神保健ー主として欧米系 臨床精神医学, **28**(5),507-514.
- 秋山剛 (2004). 東京英語いのちの電話における外国人のこころの問題と対応 こころと文化, **3**(1),22-26.
- Ahammed, S. (2010). Applying Quranic metaphors in counseling. *International Journal of Advanced Counselling*, **32**,248-255.
- Al-Krenawi, A. & Graham, J.R. (2000). Culturally sensitive social work practice with Arab clients in mental health settings. *Health & Social Work*, **25**(1), 9-22.
- Altbach, P.G., & Balan, J. (eds.) (2007). *Worldclass Worldwide: Transforming Research Universities in Asia and Latin America*. Jons Hopkins University Press. Maryland.
- Althen, G. (1995). *The Handbook of Foreign Student Advisor*, Revised ed. Intercultural Press. (服部まこと・三宅政子(監訳) (1999). 留学生アドバイザーという仕事 東洋大学出版会)
- 天野郁夫 (2008). 国立大学・法人化の行方:自立と格差のはざままで 東信出版
- 天野郁夫 (2013). 大学改革を問い直す 慶応義塾大学出版会

- Amer, M.M. & Jalal, B. (2012). Individual psychotherapy/counseling, psychodynamic, cognitive-behavioral and humanistic-experiential models. In S, Ahmed & M.M.Amer (Eds). *Counseling Muslims: Handbook of mental health issues and interventions*. New York, London:Rutledge.pp.87-117.
- American Psychological Association. (2003). Guidelines on multicultural education, training, research, practice and organizational change for psychologists. *American Psychologist*, **58**,377-402.
- Anderson, T.R. & Myer, T.E. (1985). Presenting problems, counselor contacts, and no shows - international and American-college students. *Journal of College Student Development*, **26**(6),500-503.
- Ang, P.L.D. & Liamputtong, P. (2008)."Out of the circle": International students and the use of university counselling services. *Australian Journal of Adult Learning*, **48**(1), 108-130.
- Arredondo, P. & Perez, P. (2006). Historical perspectives on the multicultural guidelines and contemporary applications. *Professional Psychology: Research and Practice*, **37**(1), 1-5.
- Arthur, N. (1997). Counseling international students. *Canadian Journal of Counseling*, **31**,259-274.
- Arthur, N. (2004). *Counseling international students: Clients from around the world*. New York: Kluwer Academic/Plenum Publishers.
- 浅原知恵 (2005). 心理臨床家の仕事と宗教家の仕事ーその関係と境界 心理臨床学研究, **23**(5),557-567.
- 芦沢真五 (2008). 米国における大学国際化評価の担い手: 政府および第三者機関の役割と日本への示唆-平成 19 年度文部科学省「先導的・大学改革推進委託」 研究代表井上明久, 実施担当者米澤彰純 各大学や第三者機関による大学の国際化に関する評価に係る調査研究報告書. 東北大学, pp.135-147.

- 芦沢真五 (2012). 留学生受入れと高度人材獲得戦略ーグローバル人材育成のための戦略的課題とは- ウェブマガジン留学交流,2012年1月号
<http://www.jasso.go.jp/about/documents/shingoashizawa.pdf>(2013年11月13日)
- 芦沢真五 (2013). 日本の学生国際交流政策ー戦略的留学生リクルートとグローバル人材育成
横田雅弘・小林明(編)大学の国際化と日本人学生の国際志向性. 学文社.pp.13-38.
- Atkinson, D.R., Bui,U.,&Mori,S.(2001).Multiculturally Sensitive empirically supported treatments-An oxymoron? In J.G. Ponterotto, J.M.Casas., L.A.Suzuki & C.M. Alexander (Eds.), *Handbook of multicultural counseling* (2nd Ed.).Thousand Oaks, CA: Sage publications. pp.542-574.
- Atkinson, D.R. & Gim, R.H. (1989). Asian-American cultural identity and attitudes toward mental health services. *Journal of Counseling Psychologist*, **336**,209-212.
- Atkinson, D.R.&Lowe,S.M.(1995). The role of ethnicity, cultural knowledge, and conventional techniques in counseling and psychotherapy. In J. G. Ponterotto, J. M. Casa, L. A. Suzuki.,& C. M. Alexander (Eds.), *Handbook of multicultural counseling* ,Thousand Oaks, CA:Sage.pp.387-414.
- Atkinson,D.R., Thomson,C.E., & Grant,S.K. (1993). A three-dimensional model for counseling racial/ethnic minorities. *The Counseling Psychologist*, **21**,257-277.
- Baker, R.W. & Siryk,B. (1984). Measuring adjustment to college. *Journal of Counseling Psychology*,**31**(2),179-189.
- Berry, J.W. (1997). Immigration, acculturation and adaptation. *Applied Psychology: An International Review*, **46**,1-30.

- Berthold, S.M. (2006). Barriers to mental health care utilization for U.S. Cambodian refugees. *Journal of Counseling and Clinical Psychology*, **74**(6),1116-1120.
- Bochner, S.,Hutnik,N.,&Furnham,A.(1985). The friendship patterns of overseas and host students in an Oxford student residence. *Journal of Social Psychology*,**125**,689-694.
- Boneva, B.S. &Frieze, I.H. (2001).Toward a concept of a migrant personality. *Journal of Social Issues*, **57**,477-492.
- Boone,M.S.,Gene,R.E.,Haltom,M.,Hill,J.S.,Liang,Y.S.,& Mier,S.R. (2011). Let's Talk: Getting out of the counseling center to serve hard-to-reach students. *Journal of Multicultural Counseling and Development*, **39**,194-205.
- Bradley, G. (2000). Responding effectively to the mental health needs of international students. *Higher Education*, **39**,417-433.
- Bryant, A. & Charmaz, K. (2007). Grounded theory research: methods and practices. In A. Bryant & K. Charmaz (Eds.), *The Sage handbook of grounded theory*. Thousand Oaks, CA: Sage publications. pp.1-28.
- Bundy, A.P. &Smithe, T.B. (2004). Breaking with tradition: Effective counseling services for nontraditional students. *Journal of College Counseling*, **7**,3-4.
- Buunk, B.P., Doosje, B.J.,Jans,L.G.J.M.,&Hopstaken,L.E.M. (1993). Perceived reciprocity, social support, and stress at work: The role of exchange and communal orientation. *Journal of Personality and Social Psychology*, **65**(4), 801-811.
- Cabral, R.R. & Smith, T.B. (2011).Racial/ethnic matching of clients and therapists in mental health services: A meta-analytic review of preferences,

perceptions, and outcomes. *Journal of Counseling Psychology*, **58**(4), 537-554.

Cardemil, E.V. & Battle, C.L. (2003). Guess who's coming to therapy? Getting comfortable with conversations about race and ethnicity in psychotherapy. *Professional Psychology: Research and Practice*, **34**,278-286.

Castro,F.G.,Barrera,M.,& Martinex,C.R. (2005). The cultural adaptation of preventive interventions: Resolving tensions between fidelity and fit. *Prevention Science*, **5**(1),41-45.

チャンダナアン (1998). 外国人の電話相談「東京いのちの電話」相談の分析から こころの科学,**77**,83-85.

Chang,D.F.& Berk,A. (2009). Making cross-racial therapy work: A phenomenological study of clients' experiences of cross-racial therapy, *Journal of Counseling Psychology*,**56**(4),521-536.

Charmaz,K. (2006). *Constructing grounded theory: A Practical guide through qualitative analysis*. London: Sage publications

Chen,C.P.(1999). Common stressors among international college students: Research and counseling implications. *Journal of College Counseling*, **2**(1), 49-65.

Chen, S.X. &Mak, W.W. S. (2008). Seeking professional help: Etiology beliefs about mental illness across cultures. *Journal of Counseling Psychology*, **55**(4), 442-450.

Cheung, F.M. (2000). Deconstructing counseling in a cultural context. *Counseling Psychologist*, **28**(1), 123-132.

Christensen, K.C. &Magoon, T.M. (1974). Perceived hierarchy of help-giving sources for two categories of student problems. *Journal of Counseling Psychology*, **21**,311-314.

- Church, A.T. (1982). Sojourners adjustment. *Psychological Bulletin*, **91**,540-572.
- Cinnirella, M. & Loewenthal, K.M. (1999). Religious and ethnic group influences on beliefs about mental illness: A qualitative interview study. *The British Journal of Medical Psychology*, **72**,505-524.
- Constantine, M.G., Chen, R.C., & Ceesay, P.(1997). Intake concerns of racial and ethnic minority students at a university counseling center: Implications for developmental programming and outreach. *Journal of Multicultural Counseling and Development*, **25**(3), 210-218.
- Constantine, M.G. & Ladany, N. (2000). Self-report multicultural counseling competence scales: Their relation to social desirability attitudes and multicultural case conceptualization ability. *Journal of Counseling Psychology*, **47**,155-164.
- Corbin, J. & Strauss, A. (2008). *Basics of qualitative research: techniques and procedures for developing grounded theory* (3rd ed.).ThousandOak, CA: Sage Publications.
- Cornell University Asian and Asian American Campus Climate Task Force (2004). *Cornell university Asian and Asian American campus climate task force report*. Gannet health services
<http://www.gannett.cornell.edu/cms/pdf/cmhw/upload/AAATFreport2004.pdf>
(2013年6月27日)
- 中央教育審議会 (2003). 新たな留学生政策の展開について(答申)―留学生交流の拡大と質の向上を目指して
- 中央教育審議会大学分科会留学生特別委員会(2008).『留学生30万人計画』の骨子とりまとめの考え方に基づく具体的方策の検討(とりまとめ)

- Dadfar, S. & Friedlander, M.L. (1982). Differential attitudes of international students toward seeking professional psychological help. *Journal of Counseling Psychology*, **29**,335-338.
- Darnell, A.M. & Kuperminc, G.P. (2006). Organizational cultural competence in mental health service delivery: A multilevel analysis. *Journal of Multicultural Counseling and Development*, **34**,194-207.
- Das, A.K. (1995). Rethinking multicultural counseling: Implications for counselor education. *Journal of Counseling and Development*, **74**,45-52.
- Davidson, M. M., Yakushko, O. F., & Sanford-Martens, T. C. (2004). Racial and ethnic minority clients' utilization of a university counseling center: An archival study. *Journal of Multicultural Counseling and Development*,**32**,259-271.
- Davis, H. Jr., Kocet, M. M., & Zozone, M. S. (2001). Counselor-in-residence: A counseling service model for residential college students, *Journal of College Counseling*,**4**,190-192.
- DeVault, M. (1995). Ethnicity and expertise: Racial-ethnic knowledge in sociological research. *Gender and Society*, **9**(5), 612-631.
- Dwairy, M. (2006). *Counseling and Psychotherapy with Arabs and Muslims: a culturally sensitive approach*. New York, NY: Teachers college press.
- 江渕一公 (1989). 国際化の分析視点と大学の国際化指標設定の試み 大学論集,**18**,29-52.
- 江渕一公 (1991). 在日留学生と異文化間教育－研究の視角と課題 異文化間教育,**5**,4-20.
- 江渕一公 (1997). 大学国際化の研究 玉川大学出版会
- Farsimadan, F., Draghi-Lorenz, R., & Ellis, J. (2007). Process and outcome of therapy in ethnically similar and dissimilar therapeutic dyads, *Psychotherapy research*,**17**(5),567-575.

- Fischer, E.H. & Farina, A. (1995). Attitudes toward seeking professional psychological help: shortened form and considerations for research. *Journal of College Student Development*, **36**, 368-373.
- Fisher, J.D., Nadler, A., & Whitcher-Alagna, S. (1982). Recipient reactions to aid. *Psychological Bulletin*, **91**, 27-54.
- Friesen, R. (2012). Faculty member engagement in Canadian University Internationalization: A Consideration of understanding, motivations and rationales. *Journal of International Education*, **17**(3), 209-227.
- 藤川麗 (2007). 臨床心理のコラボレーション: 統合的サービス構成の方法 東京大学出版会.
- 藤川麗 (2008). 実践を通しての研究: 実践型研究 下山晴彦(編) 心理学の実践的研究法を学ぶ 新曜社. pp.79-90.
- Furnham, A. & Bochner, S. (1982). Social difficulty in a foreign culture: An empirical analysis of culture shock. In S. Bochner (Ed.), *Cultures in contact: Studies in cross-cultural interaction*, Oxford: Pergamum. pp.161-198.
- 外国人労働者問題関係省庁連絡会議 (2006). 「生活者としての外国人」に関する総合的対応策 <http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/gaikokujin> (2013年12月30日)
- Garkhuff, R.R. & Pierce, R. (1967). Differential effects of therapist race and social class upon patient depth of self-exploration in the initial clinical interview. *Journal of Counseling Psychology*, **31**, 642-634.
- Gerstein, L.H., Hepper, P.P., Aegisdottir, S. Leung, S.M.A., & Norsworthy, K.L. (2009). In L.H. Gerstein., P.P. Heppner., S. Leung., & K.L. Norsworthy (Eds.), *International handbook of cross-cultural counseling: Cultural assumptions and practices worldwide*, Thousand Oaks, CA: Sage Publications. pp.3-32.
- Glaser, B.G. (1992). *Basics of grounded theory analysis: Emergence vs forcing*. Mill Valley, CA: The Sociology Press.

- Glaser, B.G. & Strauss, A.L. (1967). *The discovery of grounded theory: Strategies for qualitative research*. Chicago: Aldine Publishing Company
- Green, D.O., Creswell, J.W., Shope, R.J., & Clark, V.L.P. (2007). Grounded theory and racial/ethnic diversity. In A. Bryant, & K. Charmas (Eds.), *The Sage handbook of grounded theory*, London : Sage Publications. pp.472-492.
- Griner, D. & Smith, T.B. (2006). Culturally adapted mental health interventions: A meta-analytic review. *Psychotherapy: Therapy, research, Practice, Training*, **43**(4), 531-548.
- Halgin, R.P., Weaver, D.D., Edell, W.S., & Soencer, P.G. (1987). Relation of depression and help-seeking history to attitudes toward seeking professional psychological help. *Journal of Counseling Psychology*, **34**, 177-185.
- 潘建秀 (2005). 留学生支援に関する研究: 国立大学の留学生アドバイザーのプロフィールについて 広島大学大学院教育学研究科紀要第三部, **54**, 125-130.
- 潘建秀 (2007). 留学生に必要とされる留学生担当教職員の資質・能力に関する一考察: 留学生への質問紙調査を通じて 広島大学大学院教育学研究科紀要第二部, **56**, 51-59.
- Hansen, N, D., Randazzo, K. V., Schwartz, A., Marshall, M., Kalis, R. F., Christopher, B., & Kershner-Rice, K. (2006). Do we practice what we preach? An exploratory survey of multicultural psychotherapy competencies. *Professional Psychology: Research and Practice*, **37**, 66-74.
- 早坂浩志・佐藤純・奥野光・阿部千香子 (2013). 2012 年度学生相談機関に関する調査報告 学生相談研究, **33**(3), 298-320.
- Hernandez, M., Nesman, T., Mowery, D., Acevedo-Pilakovich, I.D., & Callejas, L.M. (2009). Cultural competence: A literature review and conceptual model for mental health services. *Psychiatric Services*, **60**(8), 1045-1050.
- 久田満 (2000). 社会行動研究 2 援助要請行動の研究 下山晴彦 (編著) 臨床心理学研究の技法. 福村出版. pp.164-170.

Hodge, D.R. & Nadir, A. (2008). Moving toward culturally competent practice with Muslims: Modifying cognitive therapy with Islamic tenets. *Social Work*, **53**(1), 31-41.

Hou, Z.J., Leung, S.M.A., & Duan, C. (2009). Counseling in China: Fast moving but what is the destination? In L.H. Gerstein., P.P. Heppner., S. Leung., & K.L. Norsworthy (Eds.), *International handbook of cross-cultural counseling: Cultural assumptions and practices worldwide*. Thousand Oaks, CA: Sage Publications. pp.183-196.

法務省 (2013). 平成 24 年末現在における在留外国人数について
http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri04_00030.html
(2013 年 3 月 18 日)

Hwang, W. (2009). The formative method for adapting psychotherapy (FMAP): A community-based developmental approach to culturally adapting therapy. *Professional Psychology: Research and Practice*, **40**(4), 369-377.

Hyun, J., Wuinn, B., Madon, T., & Lusting, S. (2007). Mental health need, awareness, and use of counseling services among international graduate students. *Journal of American College Health*, **56**(2), 109-118.

Ibrahim, F.A. & Dykeman, C. (2011). Counseling Muslim Americans: cultural and spiritual assessments. *Journal of Counseling and Development*, **28**(4), 387-396

池田忠義・吉武清實・高野明 (2006). 学生相談における学業・進路の相談内容の特徴に基づく支援のあり方 東北大学高等教育開発推進センター紀要, **1**, 143-155.

池田忠義・吉武清實・高野明 (2008). 学生相談における相談内容の特徴に基づく支援のあり方—相談内容の質的分析から 学生相談研究, **28**(3), 167-180.

井上孝代 (1997). 多文化時代のカウンセリング理論 井上孝代 (編) 多文化時代のカウンセリング, 現代のエスプリ, 至文堂, **377**, pp.30-40.

- 井上孝代 (2002). 「マクロ・カウンセリング」の考え方とカウンセラーの役割 マクロ・カウンセリング研究, **1**, 75-87.
- 井上孝代・伊藤武彦 (1997). 留学生の来日1年目の文化受容態度と精神的健康 心理学研究, **68**, 298-304.
- 井上孝代・伊藤武彦 (1998). 留学生相談の実態と課題: 全国高等教育機関の調査から 学生相談研究, **19**, 22-32.
- 石原翠 (2011). 留学生の友人関係における期待と体験の否定的認識との関連 - 中国人留学生の場合 異文化間教育学研究, **34**, 136-150.
- 石河久美子 (2012). 多文化ソーシャルワークの理論と実践 - 外国人支援者に求められるスキルと役割 明石書店.
- 石隈利紀 (1996). 学校心理学に基づく学校カウンセリングとは カウンセリング研究, **29**, 226-329.
- 石隈利紀 (1999). 学校心理学 - 教師・スクールカウンセラー・保護者のチームによる心理教育的援助サービス 誠心書房
- 伊藤直樹 (2011). 学生相談機関のガイダンスの効果に関する研究 学生相談研究, **31**, 252-264.
- 岩壁茂 (2008). プロセス研究の方法 新曜社
- 岩壁茂・金沢吉展 (2006). 心理臨床家の職業的発達に関する調査から: (2) 心理臨床家の直面する困難とその対処法について 日本心理臨床学会第25回大会 同大会発表論文集 p235.
- 岩男寿美子・萩原滋 (1988). 日本で学ぶ留学生 - 社会心理学的分析 勁草書房
- Jacob, E.J. & Greggo, J.W. (2001). Using counselor training and collaborative programming strategies in working with international students. *Journal of Multicultural Counseling and Development*, **29**, 73-88.

- 葛西真紀子 (2008). *Multicultural counseling competencies*-北米のカウンセリング心理学の立場からの *Multicultural competencies* ころと文化, **7**(2), 152-158.
- 葛文綺 (2004). 展望 中国の学生相談の動向:2001~2004年の文献を中心にレビュー 学生相談研究, **25**(2), 148-161.
- 葛文綺 (2007). 中国人留学生・研修生の異文化適応 溪水社
- 加賀美登美代 (1996). 日本人ホスト側からみた外国人学生のトラブル事例 日本語と日本語教育, **24**, 133-152.
- 加賀美常美代 (2007a). 異文化間問題[3]外国人留学生の支援体制と連携 日本コミュニティ心理学会(編)コミュニティ心理学ハンドブック 東京大学出版会 pp.769-774.
- 加賀美常美代 (2007b). 異文化間問題[4]留学生支援としての予防的・教育的アプローチ 日本コミュニティ心理学会(編)コミュニティ心理学ハンドブック 東京大学出版会 pp.775-781.
- 加賀美常美代・箕口雅博 (1997). 留学生相談におけるコミュニティ心理学的アプローチの試み:チューター制度導入後の留学生寮相談室活動の質的变化 コミュニティ心理学研究, **1**(1), 15-30.
- Kearney, L. K., Draper, M., & Baron, A. (2005). Counseling utilization by ethnic minority college students. *Cultural Diversity and Ethnic Minority Psychology*, **11**, 272-285.
- 木村真人・水野治久 (2008). 大学生の学生相談に対する被援助志向性の予測—周囲からの利用期待に着目して カウンセリング研究, **41**(3), 235-244.
- 金鉉喜・金奎卓・野島一彦 (2006). 母国語(韓国語)による保育園児・小学生・中学生の「保護者の集い」の試み:エンカウンター・グループ方式による心理支援 心理臨床学研究, **24**(1), 65-75.
- 木下康一 (2003). グラウンデッド・セオリー・アプローチの実践:質的研究への誘い 弘文堂

- 北脇保之 (2009). 外国人受け入れ施策としての外国人相談の位置づけと連携・協働の必要性
シリーズ多言語文化協働実践研究.別冊 2,外国人相談事業,4-8.
- Knight,J. (2001). Monitoring the quality and progress of internationalization.
Journal of Studies in International Education,**5**(3), 228-243.
- Knight,J. (アルトバック フィリップ・ナイト ジェーン) 天野郁夫(訳)(2006). 高等教育の国
際化－動機と現実. IDE,**482**,8-16.
- Knight, J. (2008). *Higher education in turmoil:the changing world of
internationalization*. Rotterdam: Sense Publishers.
- 小泉敬子 (2010). 第3章個別相談の方法 2 相談内容 日本学生相談学会 (編). 学生相
談ハンドブック 学苑社. pp.54-56.
- Komiya, N. & Eells, G. T. (2001). Predictors of attitudes toward seeking
counseling among international students. *Journal of College Counseling*,**4**,
153-160.
- 厚生労働省 (2008). 留学生等の高度人材受け入れ推進に関する施策
http://www.jil.go.jp/event/ro_forum/resume/081211/ogata.pdf(2011年12月2
日)
- Kung, W. (2004). Cultural and practical barriers to seeking mental health
treatment for Chinese Americans. *Journal of Community Psychology*, **32**(1),
27-43.
- Kushner, M.G. & Sher, K.J. (1991). The relation of treatment fearfulness and
psychological service utilization: An overview. *Professional Psychology:
Research and Practice*,**22**(3),196-203.
- Lau,A.&Takeuchi,D.(2001). Cultural factors in help-seeking for child behavior
problems:Value orientation, affective responding, and severity appraisals
among Chinese American parents. *Journal of Community Psychology*,**29**,675-
692.

Lau, A. & Zane, N. (2000). Examining the effects of ethnic-specific services. *Journal of Community Psychology*, **28**, 63-77.

Lazarus, R.S., & Folkman, S. (1984). *Stress, Coping and Appraisal*. New York :Springer.

Leong, F.T.L. & Sedlacek, W.E. (1986). A comparison of international and U.S. students' preferences for help sources. *Journal of College Student Development*, **27**(5), 426-430.

Levois M., Nguyen T. D., & Attkisson C. (1981). Artifact in client satisfaction assessment: Experience in community mental health settings. *Evaluation and Program Planning*, **4**, 139-150

Li, P., Wong, Y.J., & Toth, P. (2013). Asian international students' willingness to seek counseling: A mixed-methods study. *International Journal for the Advancement of Counseling*, **35**(1), 1-15.

Lin, K.M. & Cheung, F. (1999). Mental health issues for Asian Americans. *Psychiatric Services*, **50**(6), 774-780.

Maramba, G.G. & Nagayama, H.G.C. (2002). Meta-analyses of ethnic match as a predictor of dropout, utilization, and level of functioning. *Cultural Diversity and Ethnic Minority Psychology*, **8**, 290-297.

松原達哉・石隈利紀 (1993). 外国人留学生の相談の実態 カウンセリング研究, **26**, 146-155.

松浦まち子 (2001). 留学生 鶴田和美(編) 学生のための心理相談. 培風館. pp.142-154.

Mewett, H.F. & Nyland, C. (2008). Cultural diversity, relocation, and the security of international students at an internationalized university. *Journal of Studies in International Education*, **12**(2), 181-203.

Meyer, O., Zane, N., & Cho, Y. (2011). Understanding the psychological processes of the racial match effect in Asian Americans. *Journal of Counseling Psychology*, **58**(3), 335-345.

Mier, S., Boone, M., & Shropshire, S. (2009). Community consultation and intervention: Supporting students who do not access counseling services. *Journal of College Student Psychotherapy*, **23**, 16-29.

箕口雅博 (2000). 実践的フィールドワーク 下山晴彦(編)臨床心理学研究の技法 福村出版 pp.93-102.

箕口雅博 (2001). 異文化に生きる人びとへのコミュニティ心理学的アプローチ—中国帰国者, 外国人留学生の場合を中心に— 山本和郎(編)臨床心理学的地域援助の展開—コミュニティ心理学の実践と今日的課題 培風館 pp.183-206.

箕口雅博 (2007). コミュニティ・リサーチ 日本コミュニティ心理学会(編)コミュニティ心理学ハンドブック 東京大学出版会 pp.354-376.

Miller, G. H. (1978). Client ratings of a university counselling service and respondent anonymity. *Canadian Counsellor*, **12**, 184-189

Mistry, J., Jacobs, F., & Jacobs, L. (2009). Cultural relevance as program to community alignment. *Journal of Community Psychology*, **37**(4), 487-504.

Mitchell, S. L., Greenwood, A. K., & Guglielmi, M. C. (2007). Utilization of counseling services: comparing international students and U.S. college students. *Journal of College Counseling*, **10**, 117-129.

宮崎圭子・益田良子・松原達哉 (2004). 学生相談室来室の規定要因に関する研究 学生相談研究, **24**, 259-268.

宮崎悦子・岡益己 (2013). 「JAISE留学生相談指導事例集」にみる留学生指導担当者の実態—その業務領域と人材育成— 留学生教育, **18**, 1-13.

水野治久 (2003). 留学生の被援助志向性に関する研究 風間書房.

- 水野治久・石隈利紀 (1998). アジア系留学生の被援助志向性と適応に関する研究 カウンセリング研究, **31**, 1-9.
- 水野治久・石隈利紀 (2000). アジア系留学生の専門的ヘルパーに対する被援助志向性と社会・心理学的変数の関連 教育心理学研究, **48**, 165-173.
- 水野治久・石隈利紀 (2001). 留学生のソーシャルサポートと適応に関する研究の動向と課題 コミュニティ心理学研究, **4**(2), 132-143.
- モイヤー康子 (1987). 心理ストレスの要因と対処の仕方ー在日留学生の場合 異文化間教育学研究, **1**, 81-97.
- 文部科学省高等教育局 (2000). 大学における学生生活の充実方策について
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/012/toushin/000601.htm
(2011年12月2日)
- 文部科学省 (2008). 「留学生 30 万人計画」骨子
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/20/07/08080109.htm (2013年11月28日)
- 文部科学省 戦略的な留学生交流の推進に関する検討会 (2013). 「世界の成長を取り入れるための外国人留学生の受入れ戦略」(報告書) 平成 25 年 12 月 18 日
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/_icsFiles/afieldfile/2013/12/24/1342726_2.pdf (2014年2月)
- Mori, S. (2000). Addressing the mental health concerns of international students. *Journal of Counseling and Development*, **78**(2), 137-144.
- 森岡さやか (2007). メンタルヘルス領域における援助要請研究の動向と新たな可能性への提言. 東京大学大学院教育学研究科紀要, **47**, 259-267.
- Morrow, S.L., Rakhsha, G., & Castaneda, C.L. (2001). Qualitative research methods for Multicultural counseling, In J.G. Ponterotto, J.M. Casas., L.A. Suzuki & C.M. Alexander (Eds.), *Handbook of multicultural counseling* (2nd ed.). Thousand Oaks, CA: Sage publications. pp.575-603.

永井智 (2010). 大学生における援助要請意図－主要な要因間の関連から見た援助要請意図の規定因－教育心理学研究, **58**, 46-56.

中村裕子 (2007). ニーズアセスメント 日本コミュニティ心理学会(編)コミュニティ心理学ハンドブック 東京大学出版会. pp.400-412.

中矢礼美・中川正弘 (2008). 留学生支援体制の現状と今後の課題 広島大学留学生教育, **12**, 15-24.

日本学生支援機構 (2007). 大学における学生相談体制の充実方策について－「総合的な学生支援」と「専門的な学生相談」の「連携・協働」

http://www.jasso.go.jp/gakusei_shien/jyujitsuhosaku.html (2012年3月30日閲覧)

日本学生支援機構 (2009). 大学, 短期大学, 高等専門学校における学生支援の取組状況に関する調査(平成20年度)

http://www.jasso.go.jp/gakusei_plan/torikumi_chousa.html#soshiki (2011年12月2日)

日本学生支援機構 (2010). 平成22年度外国人留学生在籍状況調査結果

http://www.jasso.go.jp/statistics/intl_student/data10.html (2010年12月22日)

日本学生支援機構(2011). 平成22年度大学、短期大学、高等専門学校における学生支援の取組状況に関する調査 (2013年12月20日)

http://www.jasso.go.jp/gakusei_plan/documents/torikumi_chousa.pdf

日本学生支援機構 (2013). 平成24年度 外国人留学生在籍状況調査結果

http://www.jasso.go.jp/statistics/intl_student/documents/data12.pdf (2013年4月3日)

Nilsson, J. E., Berkel, L. A., Flores, L. Y., & Lucas, M. S. (2004). Utilization rate and presenting concerns of international students at a university counseling

center: Implications for outreach programming. *Journal of College Students Psychotherapy*, **19**,49-59.

野田文隆 (2009). 多文化・多民族時代の精神医療とは 精神医学, **51**(8),728-728.

野田文隆・井上孝代 (2008). 文化を理解する能力の教育とはどうあるべきか 特集にあたって
こころと文化, **7**(2),112-113

能智正博 (2000). 質的(定性的)研究法-仮説生成を中心に 下山晴彦(編著)臨床心理学研
究の技法 福村出版 pp.56-65.

能智正博 (2011). 臨床心理学を学ぶ 6 質的研究法 東京大学出版会

OECD (2013). *Education at a Glance 2013: OECD Indicators*, OECD Publishing.
<http://dx.doi.org/10.1787/eag-2013-en> (2013年11月22日)

岡益巳 (2011). 新たな留学生相談指導協力体制の構築について 広島大学留学生教育
15,1-15.

Okorocho, E. (2011). *Working with international students in higher education*.
UK: arima publishing

大橋敏子 (2008). 外国人留学生のメンタルヘルスと危機介入 京都大学学術出版会.

大東祥孝・丸井英二・鈴木國文・大橋敏子・坂本なほ子 (1993a). 留学生の医療状況と疾病
構造(第一報)その2: 東京大学と京都大学 保健の科学, **34**(11),805-810.

大東祥孝・丸井英二・鈴木國文・大橋敏子 (1993b). 留学生の医療状況と疾病構造(第一報)
その3: 東京大学と京都大学 保健の科学, **34**(11),874-878.

O'Reilly, A., Hickey, T & Ryana, D. (2013). Higher education professionals'
perspectives on international student experiences of life and learning in
Ireland: a qualitative study. *Irish Educational Studies*, **32**(3),355-375.

Patton, M.Q. (2002). *Qualitative research & evaluation methods*. Thousand
Oaks, CA: Sage Publications.

- Pedersen, P.B. (1991a). Multiculturalism as a generic approach to counseling. *Journal of Counseling and Development*, **70**, 6-12.
- Pedersen, P.B. (1991b). Counseling international students, *Counseling Psychologist*, **19**, 10-58.
- Perreault, M., Pawliuk, N., Veilleux, R., & Rousseau, M. (2006). Qualitative assessment of mental health service satisfaction: Strengths and limitations of a self-administered procedure. *Community Mental Health Journal*, **42**(3), 233-242.
- Pescosolido, B.A. (1992). Beyond rational choice: the social dynamics of how people seek help. *American Journal of Sociology*, **97**, 1096-1138.
- Pescosolido, B.A., Brooks, C.G., & Keri, M.L. (1998). How people get into mental health services: Stories of choice, coercion and "muddling through" from "first-timers". *Social Science and Medicine*, **46**(2), 275-286.
- Pines, A.M., Zaidmana, N., Wang, Y.H., Han, C.B., & Ping, L. (2003). The influence of cultural background on students' feelings about and use of social support. *School Psychology International*, **24**(1), 33-53.
- Pipes, R.B., Schwarz, R., & Crouch, P. (1985). Measuring clients fears. *Journal of Consulting and Clinical Psychology*, **53**, 933-934.
- Pope, R., Reynolds, A., & Muller, J. (2004). *Multicultural competence in student affairs*. CA: Jossey-Bass.
- Pope, R., Mueller, J., & Reynolds, A. (2009). Looking back and moving forward: Future direction for diversity research in student affairs. *Journal of College Student Development*, **50**(6) 640-658
- Poyrazli, S., Arbona, C., Nora, A., McPherson, R., & Stewart, P. (2000). Relation between assertiveness, academic self-efficacy, and psychosocial

- adjustment among international graduate students. *Journal of College Student Development*, **43**(5),632-642.
- Price,R. (1989). Bearing witness. *American Journal of Community Psychology*,**17**,151-167.
- Raunic,A.& Xenos, S. (2008). University counseling service utilization by local and international students and user characteristics: A Review. *International Journal of Advanced Counselling*, **30**,262-267.
- Redmond,M.V.&Bunyi,J.M. (1993). The relationship of intercultural communication competence with stress and the handling of stress as reported by international students. *International Journal of Intercultural Relations*. **17**,235-247.
- Resnick,J.(2006). Strategies for implementation of the multicultural guidelines in university and college counseling centers. *Professional Psychology, Research and Practice*,**37**(1),14-20.
- Roger,M.,Angela,M.,Soth-McNett.,& Matthew,V.M.(2007). Multicultural counseling competencies research: A 20-year content analysis. *Journal of Counseling Psychology*,**54**(4),351-361.
- Rogler,L.H.(1989). The meaning of culturally sensitive research in mental health, *The American Journal of Psychiatry*,**146**(3),296-303.
- Rogler,L.H.& Cortes,D.E.(1993). Help seeking pathways:A unifying concept in mental health care. *American Journal of Psychiatry*,**150**,554-561.
- Russell,J.,Thomson,G.,&Rosenthal,D.(2008). International student use of university health and counselling services. *High Education*,**56**,59-75.
- 留学政策懇談会 (1997). 今後の留学生政策の基本的方針について
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/015/toushin/970701.htm(
2013年12月12日)

- 蔡小瑛 (1998). 華語系外国人の相談:井上孝代(編)多文化時代のカウンセリング. 現代のエ
スプリ,**377**,198-206.至文堂
- 斎藤憲司 (2001). 大学院学生期の特徴 鶴田和美 (編) 学生のための心理相談.培風館
pp.42-53。
- 斎藤憲司 (2008). 教育のコミュニティとネットワークづくり 中釜洋子・高田治・斎藤憲司(編)
心理援助のネットワークづくり<関係系>の心理臨床 東京大学出版会 pp.159-246.
- 斎藤憲司 (2010). 学生相談の理念と歴史 日本学生相談学会 (編) 学生相談ハンドブック
学苑社.pp.10-29.
- 戈木クレイグヒル滋子 (2006).グラウンデッド・セオリー・アプローチ:理論を生みだすまで 新
曜社.
- Salmi,J. (2009). *The Challenge of Establishing World-Class Universities*. The
World Bank. Washington
- 佐々木新・島田修 (2000). 大学生におけるソーシャルサポートとの互惠性と自尊心の関係
川崎医療福祉学会誌,**10**(2),249-254.
- 笹尾敏明 (2007). プログラム評価の計画と方法 日本コミュニティ心理学会(編) コミュニティ
心理学ハンドブック,東京大学出版会. pp.377-399.
- 佐藤郁或 (2008). 質的データ分析法:原理・方法・実践 新曜社.
- Searle,W.&Ward,C.(1990). The prediction of psychological and sociocultural
adjustment during cross-cultural transition. *International Journal of
Intercultural Relations*, **14**,449-464.
- Sehgal,R., Saules,K., Young,A., Grey,M.J., Gillem,A.R., & Nabors,N.A. (2011).
Practicing what we know: Multicultural counseling competence among
clinical psychology trainees and experienced multicultural psychologist.
Cultural Diversity and Ethnic Minority Psychology,**17**(1)1-10.

- 関道子・神谷順子・浪田美智枝 (1999). 異文化接触による相互の意識変容に関する研究
(1):外国人留学生の教育に対する価値観の多様性と適応要因との関連 日本教育心理学会
総会発表論文集,41,p.244
- Setiawan, J. (2006). Willingness to seek counselling, and factors that
facilitates and inhibits the seeking of counselling in Indonesian
undergraduate students. *British Journal of Guidance & Counselling*,
34(3),403-419.
- Shigematsu,S.M. (1997). Confronting basic barriers to counseling by
international students advisors.留学生交流・指導研究,1,27-34.
- 下山晴彦 (1997). 臨床心理学研究の理論と実際:スチューデント・アパシー研究を例として
東京大学出版会
- 下山晴彦 (2000a). 研究の方法論 下山晴彦(編) 臨床心理学研究の技法 福村出
版.pp.10-33.
- 下山晴彦 (2000b). 事例研究とは 下山晴彦(編)臨床心理学研究の技法 福村出版.
pp.86-92.
- 下山晴彦 (2001). 臨床における実践研究 南風原朝和・市川伸一・下山晴彦(編)心理学研
究法入門:調査・実験から実践まで 東京大学出版会 pp.191-218
- 下山晴彦 (2007). 近年の大学の変化と学生相談の役割 精神療法, 33(5),541-546
- 下山晴彦 (2008). 実践に関する研究—調査型研究と実験型研究 下山晴彦(編)心理学の実
践的研究法を学ぶ 新曜社.pp.91-114.
- 下山晴彦 (2012). 近年の大学の変化と学生相談の課題 下山晴彦・森田慎一郎・榎本真理子
(編) 学生相談必携 GUIDEBOOK. 金剛出版.pp.12-25.
- 下山晴彦・峰松修・保坂亨・松原達哉・林昭仁・斎藤憲司 (1991). 学生相談における心
理臨床モデルの研究—学生相談の活動分類を媒介として— 心理臨床学研究,9(2),55-69.
- 白土悟 (2010). 大学における留学生支援体制の再考.留学交流,22(4),2-5.

- 白土悟・権藤与志夫 (1991). 外国人留学生の教育・生活指導における現状と課題－大学教員及び事務職員層に対する質問紙調査報告 九州大学比較教育文化研究施設紀要, **42**, 97-119
- 白石勝己 (2006). 留学生数の変遷と入管施策からみる留学生 10 万人計画. 財団法人アジア学生文化協会. ABK 留学生メールニュース, **61**, 1-6
<http://www.abk.or.jp/asia/pdf/20061225.pdf> (20143 年 12 月 10 日)
- 週刊朝日進学 MOOK (2010). 大学ランキング 2011 朝日新聞出版.
- Snowden, L.R. & Yamada, A.M. (2005). Cultural differences in access to care. *Annual Review of Clinical Psychology*, **1**, 143-166.
- 園田雅代 (2000). 教師が行なう学生相談のメリットとデメリット: 事例研究をもとにした考察 学生相談研究, **21**(2), 103-113.
- 園田智子 (2011). 群馬大学留学生のメンタルヘルスとソーシャルサポートに関する研究－大橋論文 2005 の追試の結果から－ 群馬大学国際教育・研究センター論集, **10**, 1-15.
- 孫怡 (2009). 在日中国人留学生の異文化適応に関する研究: 留学する直前のパーソナリティ・資源・適応の関連について 格差センシティブな人間発達科学の創成, 公募研究成果論文集, **4**, 65-71.
- 孫怡 (2010). 在日中国人留学生の異文化適応: パーソナリティ特性からの影響 人間文化創成科学論叢, **12**, 241-248.
- 孫怡 (2011). 在日中国人留学生の異文化適応に影響を及ぼす個人の内的資源と外的資源 パーソナリティ研究, **20**(2), 73-83.
- 総務省 (2006). 多文化共生の推進に関する研究会 報告書: 地域における多文化共生の推進に向けて www.soumu.go.jp/kokusai/pdf/sonota_b5.pdf (2013 年 12 月 20 日)
- 総務庁行政監察局 (1993). 留学生の受入対策に関する行政監察結果報告書
- Stefl, M. E., & Prosperi, D. C. (1985). Barriers to mental health service utilization. *Community Mental Health Journal*, **21**, 167-178.

Strauss, A., & Corbin, J. (1998). *Basics of qualitative research. Techniques and procedures for developing grounded theory* (2nd ed.). Thousand Oaks, CA: Sage Publications

スカリー悦子・白土悟・高松里 (2011). 2009年度九州大学留学生センター・留学生指導部門報告 九州大学留学生センター紀要, **19**, 155-165.

周玉慧・深田博己 (1996). ソーシャルサポートの互惠性が青年の心身の健康に及ぼす影響 心理学研究, **67**(1), 33-41.

Sue, D. W. (2001). Multidimensional facets of cultural competence. *The Counseling Psychologist*, **29**, 790-821.

Sue, D. W., Arrendo, P., & McDavos, R. J. (1992). Multicultural counseling competencies and standards: A Call to the profession. *Journal of Multicultural Counseling and Development*, **20**(2), 64-88.

Sue, D. W., Bernier, J. E., Duran, A., Feinberg, L., Pedersen, P., Smith, E., & Vasquez-Nuttall, E. (1982). Position paper: Cross-cultural counseling competencies. *The counseling Psychologist*, **10**(2), 45-52.

Sue, D. W., Carter, R. T., Casas, M. J., Fouad, N. A., Ivey, A. E., Jensen, M., LaFromboise, T., Manese, J. E., Ponterotto, J. G., & Vasquez-Nuttall, E. (1998). *Multicultural counseling competencies: Individual and organizational development*. Thousand Oaks, CA: Sage Publications.

Sue, D. W. & Sue, D. (1977). Barriers to effective cross cultural counseling. *Journal of Counseling Psychology*, **24**(5), 420-429.

Sue, S. (1977). Community mental health services to minority groups: Some optimism, some pessimism. *American Psychologist*, **32**, 616-624.

Sue, S. (2006). Cultural competency: From philosophy to research and practice. *Journal of Community Psychology*, **34**, 237-245.

Sue, S., Fujimino, D. C., Hu, L., Takeuchi, D. J., & Zane, N. W. S. (1991). Community mental health services for ethnic minority groups: A test of cultural responsiveness hypothesis. *Journal of Consulting and Clinical Psychology*, **59**(4), 561-569.

Sue, S., & Zane, N. (1987). The role of culture and cultural techniques in psychotherapy: A critique and reformulation. *American Psychologist*, **42**, 37-45

杉沢経子 (2009). 多言語・専門対応の仕組みづくり: 連携・協働・ネットワークの視点から 東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター (編) 外国人相談事業, 実践のノウハウとその担い手, シリーズ多言語・多文化協働実践研究, 別冊 2, pp.10-48.

栖原暁 (2003). 「留学生指導担当教官」の役割と可能性: 「留学生センター指導部門の存在意義」をめぐる議論データから 東京大学留学生センター紀要, **13**, 1-32.

栖原暁 (2009). 入管法・住民基本台帳法改正を受けて一日本は外国人をどう受け入れようとしているのか 東京 YWCA「留学生の母親」運動 講演会資料
www.tokyo.ywca.or.jp/ryugakusei/kouen0910.pdf (2013 年 12 月 20 日)

鈴木國文・大東祥孝 (1989). 「外国人留学生のメンタルヘルス」その基本的留意点—プライバシーの問題, 帰国という壁 全国大学保健管理研究集会報告書, **27**, 137-139.

鈴木ゆみ子 (2011). スクールカウンセラーの多文化カウンセリングコンピテンスの獲得に向けて: 臨床心理士養成課程の大学院案内とシラバスの分析 明治学院大学大学院心理学研究科心理学専攻紀要, **16**, 31-47.

高井次郎 (1994). 日本人との交流と在日留学生の異文化適応 異文化間教育, **8**, 106-117.

高松里 (1997a). 多文化間カウンセリングの特徴—日本人を対象としたカウンセリングと比較して 留学生交流・指導研究, **1**, 22-26.

高松里 (1997b). 留学生相談システムとしてのボランティア活動—サポートネットワーク<そら>の組織化を通じて 留学生教育, **1**, 69-83.

- 高松里 (2002). 多文化間カウンセリング論:クライアント(留学生)の特徴とは何か? 九州大学留学生センター紀要, **12**,15-26.
- 高松里 (2003). 多文化間カウンセリング論(II) 支援システムの構築 九州大学留学生センター紀要, **13**,101-111.
- 高野明・宇留田麗 (2002). 援助要請行動から見たサービスとしての学生相談 教育心理学研究, **50**,113-125.
- 高野明・宇留田麗 (2004). 学生相談活動に対する援助要請のしやすさについての具体的検討—援助要請に関する利益とコストの認知との関連から 学生相談研究, **25**,56-68.
- 高野明・吉武清實・池田忠義・佐藤静香・関谷佳代 (2008a). 学生相談に対する援助要請の態度と学生相談に関して求める情報の関係 学生相談研究, **28**(3),191-201.
- 高野明・吉武清實・池田忠義・佐藤静香・関谷佳代 (2008b). 学生相談機関への来談者の問題把握のプロセスに関する研究 東北大学高等教育開発推進センター紀要, **3**,155-161.
- Takeuchi,D.T.,Mokuau,N.,&Chun,C. (1992). Mental health services for Asian Americans and Pacific Islanders. *Journal of Mental Health Administration*, **19**,237-245.
- Takeuchi,D.T.,Sue,S.,&Yeh,M. (1995). Return rates and outcomes from ethnicity-specific mental health programs in Los Angeles. *American Journal of Public Health*, **85**,638-643.
- 譚紅艷・渡邊勉・今野裕之 (2011). 在日外国人留学生の異文化適応に関する心理学的研究の展望 目白大学心理学研究, **7**,95-114.
- 田中共子・高井次郎・神山貫弥・村中千穂・藤原武弘 (1990a). 在日外国人留学生の適応に関する研究(1).異文化適応尺度の因子構造の検討 広島大学総合科学部紀要, **14**,77-94.
- 田中共子・高井次郎・南博文・藤原武弘 (1990b). 在日外国人留学生の適応に関する研究(2):新渡日留学生の一学期間におけるソーシャル・ネットワーク形成と適応 広島大学総合科学部紀要 III, **14**,95-113.

田中共子・高井次郎・南博文・藤原武弘 (1991). 在日外国人留学生の適応に関する研究 (3) : 新渡日留学生の半年間におけるソーシャル・ネットワーク形成と適応. 広島大学留学生センター紀要, **1**, 77-95.

田中共子 (1993). 留学生相談の領域 学生相談研究, **4**, 73-82.

田中共子 (1997). 異文化適応スキル 江渕一公(編)異文化間教育研究入門. 玉川大学出版部. pp.134-150.

田中共子 (1998a). 留学生教育・指導のあるべき姿: 留学生指導体制の担い手について 広島大学留学生教育, **2**, 32-56.

田中共子 (1998b). 留学生指導体制の段階的展開に関する一考察 広島大学留学生センター紀要, **8**, 63-79.

田中共子 (2000). 留学生のソーシャル・ネットワークとソーシャル・スキル ナカニシヤ出版.

田中共子 (2003). 日本人学生と留学生の対人関係形成の困難に関する原因認知の比較 学生相談研究, **24**(1), 41-51.

田中共子 (2010). 異文化適応とソーシャルスキル 日本語教育, **146**, 61-75.

TELL (2013). 2012年度年次報告

[http://www.telljp.com/images/uploads/TELL_AR2012_jpn\(website\).pdf](http://www.telljp.com/images/uploads/TELL_AR2012_jpn(website).pdf) (2014年2月5日).

寺倉憲一 (2009). 我が国における留学生受け入れ政策: これまでの経緯と「留学生30万に計画」の策定 レファレンス, **59**(2), 27-47.

Thomson Reuters (2013). Times Higher Education (THE) World university rankings 2012-2013 <http://www.timeshighereducation.co.uk/world-university-rankings/> (2013年8月7日)

東京大学保健管理センター (1993). 留学生のUPI 第31回全国大学保健管理研究集会報告書, 290-293.

東京大学保健・健康推進本部 (2011). 平成 23 年度健康管理概要 <http://www.hc.u-tokyo.ac.jp/announce/HSC2011gaiyo.pdf> (2013 年 12 月 20 日)

外ノ池裕美 (2006). 学生相談における外国人留学生への危機介入 学生相談研究, **26**,209-220.

Toporek, R.L.&Reza, J.V. (2001). Context as a critical dimension of multicultural counseling: Articulating personal, professional, and institutional competence. *Journal of Multicultural Counseling & Development*, **29**(1),13-30.

Townes,D.L.,Chavez-Korell,S.,& Cunningham,N.J. (2009). Reexamining the relationships between racial identity,cultural mistrust,help-seeking attitudes, and preference for a black counselor. *Journal of Counseling Psychology*,**56**(2),330-336.

豊住マルシア(1996). LAL の電話相談によるラテンアメリカの人々の心の問題の支援 ころの健康,**11**(1),54-60.

Tracey,T.J.,Leong,F.T.,&Glidden,C.(1986). Help seeking and problem perception among Asian Americans. *Journal of Counseling Psychology*,**33**,331-336.

Trice,A.&Elliot,J.(1993). Japanese students in America:II College friendship patterns. *Journal of Instructional Psychology*,**20**(3),262-264.

坪井健 (1999). 留学生と日本人の交流教育:オーストラリアとの比較を通して 異文化間教育,**13**,60-74.

Turcic,S. (2008). Needs assessment of International students in the City of Sydney. Project report
http://www.cityofsydney.nsw.gov.au/__data/assets/pdf_file/0004/71428/Needs-Assessment-International-Students.pdf (2013 年 12 月 22 日)

Turner, Y., & Robon, R. (2007). Competitive and cooperative impulses to internationalization: Reflecting on the interplay between management intentions and the experience of academics in a British university, *education, knowledge & economy: A Journal for Education and Social Enterprise*, **1**(1), 65-82.

鶴田和美 (2001a). 学生生活サイクルとは 鶴田和美 (編) 学生のための心理相談. 培風館. pp.2-11.

鶴田和美 (2001b). 大学教育を支える学生相談 鶴田和美 (編) 学生のための心理相談. 培風館. pp.241-245.

鶴田和美・齋藤憲司 (2006). 学生相談シンポジウムー大学カウンセラーが語る実践と研究 培風館.

Uba, L. (1982). Meeting the mental health needs of Asian Americans. *Professional Psychology*, **13**(2), 215-221.

Uba, L. (1994). *Asian Americans: personality patterns, identity, and mental health*. New York: Guildford Press.

上原麻子 (1988). 留学生の異文化適応 広島大学教育学部日本語教育学科・留学生日本語教育 (編) 言語習得及び異文化適応の理論的・実践的研究. pp.111-124.

馬越徹 (1991). 異文化接触と留学生教育 異文化間教育, **5**, 21-34.

Vogel, D. L., Wester, S. R., & Larson, L. M. (2007). Avoidance of counseling: Psychological factors that inhibit seeking help. *Journal of Counseling & Development*, **85**, 413-422.

Wang, K. T., Heppner, P. P., Fu, C. C., Zhao, R., Li, F., & Chuang, C. C. (2012). Profiles of acculturative adjustment patterns among Chinese international students. *Journal of Counseling Psychology*, **59**(3), 424-436.

- Wang, W.H. (2009). *Chinese international students' cross-cultural adjustment in the U.S: The roles of acculturation strategies, self-construals, perceived cultural distance and English self-confidence*. Ann Arbor, MI: ProQuest.
- Ward, C., Bochner, S., & Furnham, A. (2001). *The psychology of culture shock* (2nd ed.). Hove, East Sussex: Routledge.
- Ward, C. & Chang, W.C. (1997). "Cultural fit": A new perspective on personality and sojourner adjustment. *International Journal of International Relations*, **21**(4), 525-533.
- Ward, C. & Kennedy, A. (1992). Locus of control, mood disturbance and social difficulty during cross-cultural transitions. *International Journal of Intercultural Relations*, **16**, 175-194.
- Ward, C. & Kennedy, A. (1993). Psychological and sociocultural adjustment during cross-cultural transitions: A comparison of secondary students overseas and at home. *International Journal of Psychology*, **28**, 129-147.
- Ward, C. & Rana-Deuba, A. (2000). Home and host culture influences on sojourner adjustment. *International Journal of Intercultural Relations*, **24**(3), 291-306..
- 渡戸一郎 (2008). 通常行政に編入される東京の外国人政策: 保守化する東京都と豊島区の政策動向を中心に *グローバル都市研究*, **1**, 9-28.
- 渡戸一郎 (2009). 自治体政策における「外国人相談」の意義と課題-多言語政策としての「言語サービス」の視点から *東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター (編) 外国人相談事業, 実践のノウハウとその担い手, シリーズ多言語・多文化協働実践研究, 別冊 2*, pp. 83-92.
- Williams, V. (2005). Working with Muslims in counseling: Identifying sensitive issues and conflicting philosophy. *International Journal for the Advancement of Counselling*, **27**(1), 125-130.

- 八重澤 美知子・桜田千采・島弘子 (1998). 外国人留学生の受け入れに関する心理学的研究 金沢大学留学生センター紀要, **1**, 67-83.
- Yakunina, E.S. & Weigold, I.K. (2011). Asian international students' Intentions to seek counseling: Integrating cognitive and cultural predictors. *Asian American Journal of Psychology*, **2**(3), 219-224.
- Yakunina, E.S., Weigold, I., & McCarthy, A.S. (2011). Group counselling with international students: Practical, ethical and cultural considerations. *Journal of College Student Psychotherapy*, **25**(1), 67-78.
- Yakushko, O., Davidson, M.M., & Sanford-Martens, T.C. (2008). Seeking help in a foreign land: International students' use patterns for a U.S. university counseling center. *Journal of College Counseling*, **11**, 6-18.
- 山本多喜司 (1986). 異文化環境への適応に関する環境心理学的研究 昭和 60 年度科学研究費一般研究:(B). 研究成果報告書
- 山下親子 (2009). 学生相談担当者による授業実践が学生に及ぼす影響 学生相談:九州大学学生生活・修学相談室紀要, **11**, 45-52.
- 山内タカ子 (2001). アジア系留学生との関わりにおける一考察 学生相談研究, **22**(1), 16-22.
- 山崎瑞紀 (1993). アジア系留学生の対日態度の形成要因に関する研究 心理学研究, **64**(3), 215-223.
- 矢永由里子 (1994). 異文化間カウンセリング在日外国人への援助 心理臨床, **7**(2), 91-97.
- 矢永由里子 (2004). 外国人のこころの支援に対する国際交流協会の活動:NPO と公的機関の間に位置する事業として こころと文化, **3**(1), 16-21.
- Yang, R.P.U., Noels, K.A., & Saumure, K.D. (2006). Multiple routes to cross-cultural adaptation for international students: Mapping the paths between self-construals, English language confidence, and adjustment. *International Journal of Intercultural Relations*, **30**, 487-506.

Yi, J., Giseala, L.J., & Kishimoto, Y. (2003). Utilization of counseling services by international students. *Journal of Instructional Psychology*, **30**, 333-342.

横田雅弘 (1991). 留学生と日本人学生の親密化に関する研究 異文化間教育, **5**, 81-97.

横田雅弘 (1997). 留学生の適応と教育 江渕一公(編) 異文化間教育研究入門 玉川大学出版部. pp.67-84.

横田雅弘 (2007). 平成 18 年度文部科学省先導的の大学改革推進経費による委託研究. 留学生交流の将来予測に関する調査研究.

<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~yokotam/relatedresearch.html> (2011 年 12 月 10 日)

横田雅弘・白土悟 (2004). 留学生アドバイジング: 学習・生活・心理をいかに支援するか. ナカニシヤ出版.

横田雅弘 (2012). 留学生と地域交流 植村勝彦・高島克子・箕口雅博・原裕視・久田満(編) よくわかるコミュニティ心理学(第 2 版). ミネルヴァ書房. pp.192-193.

横田雅弘 (2013). 外国人学生の受け入れと日本人学生の国際志向性—本書の問題意識とその背景 横田雅弘・小林明(編) 大学の国際化と日本人学生の国際志向性. 学文社. pp.1-10.

米澤彰純 (2013). 日本の「世界水準大学」政策の行方 米澤彰純(監訳) 新興国家の世界水準大学戦略 世界水準をめざすアジア・中南米と日本. 東信堂 pp.69-88. (Altbach, P.G., & Balan, J. (eds.) (2007). *Worldclass Worldwide: Transforming Research Universities in Asia and Latin America*. Jons Hopkins University Press. Maryland.) (ただし該当章は翻訳版のみに掲載)

米澤彰純・廣内大輔・村澤昌崇 (2008a). 日本の大学における国際化への取り組みとその現状 平成 19 年度文部科学省「先導的の大学改革推進委託」 研究代表井上明久. 実施担当者 米澤彰純 各大学や第三者機関による大学の国際化に関する評価に係る調査研究報告書. 東北大学, pp.7-23.

米澤彰純・廣内大輔・村澤昌崇 (2008b). 大学国際化への支援と評価 平成 19 年度文部科学省「先導的大学改革推進委託」 研究代表井上明久. 実施担当者米澤彰純 各大学や第三者機関による大学の国際化に関する評価に係る調査研究報告書. 東北大学, pp.25-41.

Yonezawa, A. (2009). The internationalization of Japanese higher education: Policy debates and realities. *Nagoya Journal of Higher Education*, **9**, 199-219

Yoon, E. & Portman, T. A. A. (2004). Critical issues of literature on counseling international students. *Journal of Multicultural Counseling and Development*, **32**(1), 33-44.

Yoon, E. & Jepsen, D. A. (2008). Expectations of and attitudes toward counseling: A comparison of Asian international and U.S. graduate students. *International Journal of Advanced Counselling*, **30**, 116-127.

吉武清貫 (2005). 改革期の大学教育における学生相談: コミュニティ・アプローチモデル (展望) 教育心理学年報, **44**, 138-146.

吉武清貫・大島啓利・池田忠義・高野明・山中淑江・杉江征・池田淳子・福盛英明・岡昌之 (2010). 2009 年度学生相談機関に関する調査報告 学生相談研究, **30**(3), 226-271.

Zane, N. & Hatanaka, H. (1994). Ethnic-specific mental health services: Evaluation of the parallel approach for Asian-American clients. *Journal of Community Psychology*, **22**, 68-81.

Zane, N., Sue, S., Chang, J., Huang, L., Huang, J., Lowe, S., Srinivasan, S., Chun, K., Kurasaki, K., & Lee, E. (2005). Beyond ethnic match: Effects of client-therapist cognitive match in problem perception, coping orientation, and therapy goals on treatment outcomes. *Journal of Community Psychology*, **33**(5), 569-585.

Zhang, J. & Goodson, P. (2011). Predictors of international students' psychological adjustment to life in the United States: A systematic review. *International Journal of Intercultural relations*, **35**, 139-162.